

環境報告書

2022年度のまとめ



とちぎ"コープ"

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

理念

CO-OP ともにはぐくむ暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつの暮らしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

とちぎコープは、「環境に配慮した暮らし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープデリグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制およびとちぎコープが受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 川端 浩義

2022年度の取り組み

環境方針（１） 事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連の呼びかけのもとコープデリ連合会とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、2030年度の二酸化炭素の排出量を基準年（2013年度）の5,793.9トンから60%削減し、2,317.6トンにする目標を掲げています。

【目的】2022年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出量を2013年度対比83.0%以下にします。

【2022年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4,809.6トン以下にします。

○ 二酸化炭素排出量の推移 CO₂（トン）

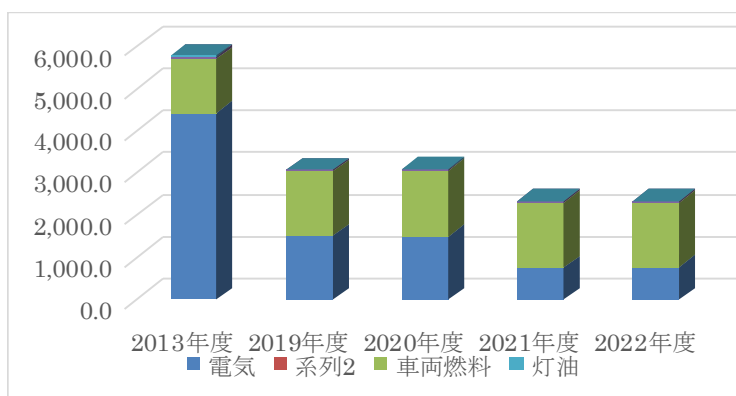
主要な排出項目	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気	4,434.7	3,011.1	3,019.5	3,231.9	3,249.5
電力会社変更効果 (実排出係数使用)		-1,481.4	-1,504.8	-2,461.7	-2,459.1
車両燃料	1,287.5	1,524.2	1,548.8	1,544.8	1,524.9
LPG	55.0	31.9	33.7	31.4	29.0
灯油	16.6	5.8	6.1	5.3	4.3
合計	5,793.9	3,091.7	3,103.2	2,351.7	2,348.6

電気の使用によるCO₂の排出量は、2030年度計画は基準年の2013年度の排出係数0.531kg/kWhを使用して計算します。

2021年度以降は、その年度の実排出係数を使用します。

2022年度は新型コロナウイルス対策のため電気使用量が増加し、二酸化炭素排出量は4,807.6トンとなりましたが、株式会社地球クラブからの電力の排出係数が0.104kg/kWh、

出光グリーンパワーからの電力排出係数が0.300kg/kWhでしたので2,459.1トンの削減効果があり、二酸化炭素排出量は2,348.6トンで、今年度の目標を大幅に下回る計画比40.5%で達成できました。



【個別目標1】電力使用量を 7,197,076 kWh 以下にします。

○ 電気使用量の推移 単位 kWh

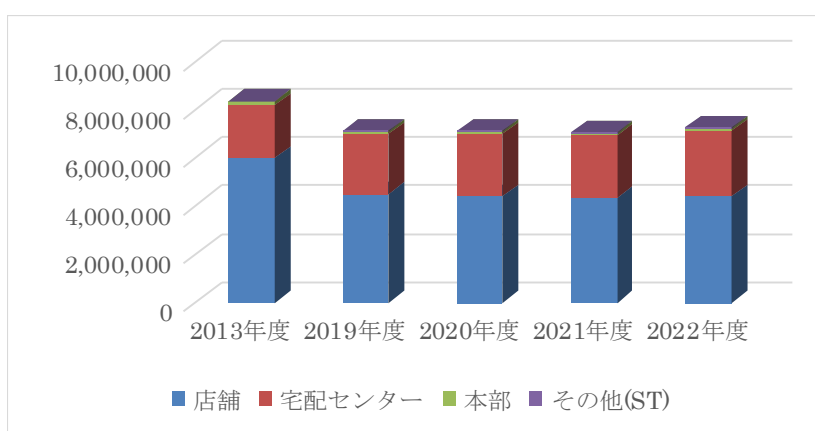
業態	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
店舗	6,008,186	4,506,773	4,422,071	4,354,911	4,398,412
SM店	5,090,951	4,414,108	4,422,071	4,354,911	4,398,412
ミニコープ	917,235	92,665	-	-	-
宅配センター	2,208,280	2,479,755	2,571,994	2,576,840	2,731,287
本部	135,218	107,457	113,023	108,453	107,582
その他(ST)	-	24,474	31,220	31,820	32,327
合計	8,351,684	7,118,459	7,138,308	7,072,024	7,269,608

店舗では不要な照明の消灯などの節電対策を行っています。

宅配センターではドライアイスの代わりに繰り返し使用できる冷凍蓄冷材に切り替えを進めているため、蓄冷材凍結庫の増設で電気使用量が増えています。

また、夏場は過去2番目の

猛暑だったため、エアコンの使用等による電気使用量の増加で、全体では計画比で101.0%、前年比102.8%と目標は達成できませんでした。



【個別目標2】自前配達車両燃料の使用量を 175,672L 以下にします。

○ 車両燃料使用量の推移 単位 L

燃料種別	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ガソリン	115,896	138,361	138,494	144,712	136,298
軽油	388,102	458,436	467,672	468,636	468,474
内 自前配達分	139,131	184,539	176,793	175,672	164,975
燃料合計	503,998	596,797	606,166	613,347	604,772

配達コースの見直し等により燃料使用量を減少できました。

環境方針（２） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】 廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【2022年度目標】 事業系一般廃棄物の排出量を前年実績以下にします。

○ 業態別の排出量の推移 単位 kg

事業系一般廃棄物は、本部・鶴田店・宇都宮センター・日光センターを除く事業所で排出量が増加し、とちぎコープ全体では計画は未達成でした。

業態	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
宅配センター	26,788	27,910	32,946	33,242	32,989
SM店	88,252	84,440	84,460	103,920	105,240
ミニコープ	5,780	1,385	-	-	-
本部	1,480	1,490	1,730	1,610	1,490
合計	122,300	115,225	119,136	138,772	139,719

【事業活動で排出する廃棄物の発生抑制と再資源化の推進】

○ 廃棄物の再資源化量の推移 単位 kg

種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
魚腸骨	27.4	27.4	32.1	37.3	27.3
廃食用油	15.7	16.0	10.0	9.4	8.2
生ゴミ	123.9	125.1	117.6	94.2	94.1
魚箱(発泡スチロール)	6.2	5.9	6.1	6.1	5.0
ダンボール	358.7	351.5	366.0	356.6	340.9

廃棄物の排出量は事業の伸張とともに増加傾向にあります。基本的に全量をリサイクルしています。食品廃棄物では、魚腸骨は家畜の飼料に、廃食用油はインクや飼料・BDFなどにリサイクル利用されています。また生ゴミから作られた、たい肥で育てた野菜を越戸店で販売する「リサイクルループ」を行っています。食品廃棄物のリサイクル率は99.7%となっています。

【レジ袋の削減】

とちぎコープは2009年12月に栃木県や市町との間で「レジ袋削減に関する協定」を締結し、全てのお店でレジ袋を有料化してきました。2020年7月1日より全国の小売店でレジ袋有料化となり、レジ袋削減協定は2021年3月31日をもって解消されました。2022年度のマイバッグ持参率は当初の目標としていた80.0%を超過し、85.3%でした。年間で210.9万枚のレジ袋を削減できています。

環境方針（3）組合員とともに取り組む環境活動

【目的】環境活動に参加する組合員を増やします。

【2020年度からは目標数値を設定せずに運用管理としました。

【組合員さん参加のリサイクル】

○ 資源物の回収量の推移 単位 トン

種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ペットボトル	50.5	53.3	55.5	62.4	62.4
食品トレイ	8.0	8.3	9.7	10.0	10.0
ミールキット	0.2	1.0	1.2	1.4	1.5
紙資源	2,700.2	2,685.1	2,533.5	2,587.2	2,477.4
紙パック	50.6	50.7	54.7	56.8	49.9
アルミ缶	7.8	8.2	8.9	8.9	8.5
卵パック	9.8	11.4	12.0	11.6	12.0
シッパ内袋	32.1	33.0	32.8	34.9	29.8
回数量合計(トン)	2,859.2	2,851.0	2,708.4	2,773.1	2,651.6

コープデリ宅配ではリサイクルの案内チラシを年4回配布しました。ハピデリなどのカタログ配布数量の減少により、回収ボリュームの大きい紙資源の回収量は減少して、合計で前年比4.4%減となりました。

【その他の環境活動】

コロナ禍の影響で、お店のイトインコーナーでのクールシェアやウォームシェアは中止しました。

家庭や職場などで眠っている賞味期限内の食料品を寄贈していただく「フードドライブ」にスーパーマーケット全店とデリ宅配全センター、および直営のステーション5ヶ所で常時受付しています。全体で14,062点・5093.6kgとなり、「NPO法人フードバンクうつのみや」から生活困窮者や食料品を必要としている施設などに無償で提供されています。また、包括連携協定を締結している鹿沼市にも寄贈し、子ども食堂やひとり親家庭に提供されています。5月に開催した栃木店店頭フードドライブでは栃木市社会福祉協議会と一緒に取り組み、栃木市子ども食堂ネットワークとのつながりも深めました。

6月は日光市足尾町銅親水公園付近にて植樹体験・環境学習会を開催しました。今回は組合員親子と職員が参加し、自然環境の大切さを学びました。

8年目の取り組みとなる「わが家のグリーンカーテン大作戦」は111名の組合員さんから応募をいただきました。

2023年2月に栃木市で開催された「エコライフinとちぎ」では、とちぎコープの環境の取り組みのパネル展示と、環境配慮商品ワンタッチコアノンロールを配布しました。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

【エコキーパー事業所】

栃木県では、事業所における自主的な地球温暖化対策を推進するため、事業活動において地球温暖化対策に関し優れた取り組みを実施している事業所を「エコキーパー事業所」として認定する制度があります。とちぎコープではスーパーマーケット4店舗が3星ランクで認定されています。

環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務システムの一環として推進しています。

【従事者の教育・訓練】

「とちぎコープEMSガイドブック」2022年版を作成し、定期教育を実施しました。8月末までに全事業所で終了しました。

【コミュニケーション】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。

2022年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

【法令の監視と順守状況】

日本生協連の「環境ニュースレター」や、法令関係のホームページにより情報を入手し、新しい法律や、法令の改定を監視しています。県・自治体の条例については、ホームページや担当職員へのヒアリング等を通じて、最新情報の把握に努めています。

浄化槽の管理や廃棄物の保管・処理など、日常の管理が必要なものについては、月々の進捗管理の中で実施状況を管理しています。産業廃棄物マニフェストは、産業廃棄物排出事業所で発行し、発行後は総務と環境マネジメント事務局で管理しています。容器包装リサイクル法については、指定法人と再商品化委託契約を結んで対応しています。食品リサイクル法および省エネ法の定期報告を行っています。その他の法令・条例およびその他の要求事項についての順守状況については、毎月の常務会で報告し不適合がなかったことが確認されています。

【とちぎコープの概要】

(2023年3月現在)

理事長	塚原 政雄
組合員数	273,245人(加入率33.8%)
出資金	83億2214万円
事業高	301億3471万円
職員数	正規302人、定時605人(計907人)

事業所

○ 配送センター 7ヶ所

- 西那須野センター(那須塩原市)
- 芳賀センター(芳賀町)
- 日光センター(日光市)
- 宇都宮センター(宇都宮市)
- 壬生センター(壬生町)
- 小山センター(小山市)
- 足利センター(足利市)

○ スーパーマーケット(SM店)4店舗

- コープ越戸店(宇都宮市)
- コープ鶴田店(宇都宮市)
- コープおもちゃのまち店(壬生町)
- コープ栃木店(栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット

○ 移動店舗 2ヶ所

- 越戸(宇都宮市)
- 鶴田(宇都宮市)

○ とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2024年1月21日

とちぎコープ生活協同組合

環境管理責任者 紺野 有史

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114